

氏名	岡 本 繁
学位の種類	医 学 博 士
学位授与番号	乙 第 1333 号
学位授与の日付	昭和57年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者（学位規則第5条第2項該当）
学位論文題目	実験的高コレステロール血症における眼組織の組織学的研究 第1報 網脈絡膜の変化について 第2報 脈絡膜血流量と脈絡膜組織所見との関係について 第3報 網脈絡膜変性部の電顕所見について
論文審査委員	教授 小川勝士 教授 粟井通泰 教授 村上宅郎

学 位 論 文 内 容 の 要 旨

著者は眼組織に対する高コレステロール血症の影響を調べる目的で家兔をコレステロール含有飼料で長期間飼育したのち、眼組織を光顕並びに電顕で検討した。またこのような家兔の脈絡膜組織血流量を水素クリアランス法で測定した。

脈絡膜外層にはズダン好性泡沫細胞の浸潤蓄積が高度に起り、一部で脈絡膜の太い静脈の減少を認めた。脈絡膜組織血流量は泡沫細胞の浸潤が高度な部程減少していたので、高コレステロール血症家兔では脈絡膜循環障害に起因する網膜変性が起りうると考え、さらに飼育期間を延長して観察したところ、視細胞の消失と Müller 細胞による置換、外顆粒層の消失、網膜色素上皮細胞の消失という所見をもつ網膜変性部が観察された。変性部下の脈絡膜毛細血管には内皮細胞の消失、毛細血管の ghost 化が観察され、慢性の脈絡膜循環障害によって典型的な網脈絡膜変性が起ることが実証された。

論 文 審 査 の 結 果 の 要 旨

本研究は、コレステロール含有飼料で長期間飼育した家兔につき、網脈絡膜の変化を光顕および電顕的に検索し、また脈絡膜の血流量を水素クリアランス法で測定したものであるが、脈絡膜組織外層の高度な泡沫細胞の浸潤蓄積と、それに基づく慢性の循環障害が高脂血症における網脈絡膜変性の重要な病因であることを実証したもので、価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は医学博士の学位を得る資格があると認める。